

各学年、お話し会や体験会などを通して、障がい者や多文化共生などについての理解を深め、自分の他者に対するかかわり方について考えました。



## 1年生 お話し会 (ペルーの文化)

ペルーのがっこうでは、くつをはきかえないということをはじめてしました。ペルーのことをべんきょうして、ペルーにいったくくなりました。とてもたのしかったです。

ねん くみ  
1年2組

## 3年生 お話し会 (ベトナムの文化)

チャン先生は、日本とベトナムではちがうことがあって、そのせいで、悲しい思いをしたことを話してくれました。私は、これから外国人のお友だちが来たら、悲しい思いをしないように、やさしく話しかけて、いっしょに遊びたいです。

それから、チャン先生の話聞いて、船に何人もの人が重なって、かかれながら命がけでせんそうからにげたと知りました。せんそうのこわさが、もっと分かりました。

ねん くみ  
3年2組



## 2年生 お話し会 (聴覚障がい)

※学級閉鎖でお話し会が延期になりました。実施後に、学校だよりに掲載します。

## 4年生 お話し会 (視覚障がい)

この時間でいろいろなことがわかりました。初めて障がいについてじっくりと考えました。最初、障がいのある人は大変そうだな、と思っていました。でも、小泉さんの話を聞いてみると、見えない生活になれたり、物の場所を覚えたりしながら生活しているんだとわかりました。自分にももし不自由なところがあったら、自分一人だけの力ではできないことばかりで、何もできずみんなと遊ばず一人ぼっちになってしまうのかな、と思っていました。でも障がいがあることは困ったことではなくて、一人ひとりちがう個性なんだということがわかりました。障がいがある人もない人も、一人ぼっちにならないように、楽しい毎日になりたいです。そうなるように、自分も協力したいです。

ねん くみ  
4年2組

## 5年生 車いす&福祉車両体験

私は、自分一人で車いすに乗ったとき、こわくて不安な気持ちになりました。初めて車いすに乗るので、緊張しているのもあったけど、自分が歩くときに見ている景色とはちがって、車いすの視点で周りを見ると、少しこわくなりました。また、一人なので転んだりしたらこわいと思いました。車いすに乗って見て、「車いすを使っている人はこんな気持ちなんだ」と知りました。

車いすの介助体験では、声をかけたり、乗り心地を意識したりすることを学びました。町には段差や坂道などがあるので、車いすの人や障がいのある人が困っていたら助けたいです。車いすの人は、お店などで高いところにある商品を取りにくいということも知ったので、気づいたときに自分がサポートしたいです。

ねん くみ  
5年2組

## 6年生 電動車いすサッカー

私は、電動車いすサッカーチーム「横浜クラッカーズ」に所属する中山環選手からお話を聞きました。私は今回初めて電動車いすサッカーを知りました。中山選手は軽タパスをしていましたが、難しくそうだなと思いました。実際にプレーしている中山選手はすごかったよかったです。

中山選手は「電動車いすサッカーは自分そのものだ。」と言っていました。私は1年生の頃からバスケットをやっています。バスケットで中山選手の考え方を取り入れ、「バスケットは自分そのものだ。」と言えるようにこれからも練習に積極的に取り組み、夢をもっていきたいです。

ねん くみ  
6年2組

